

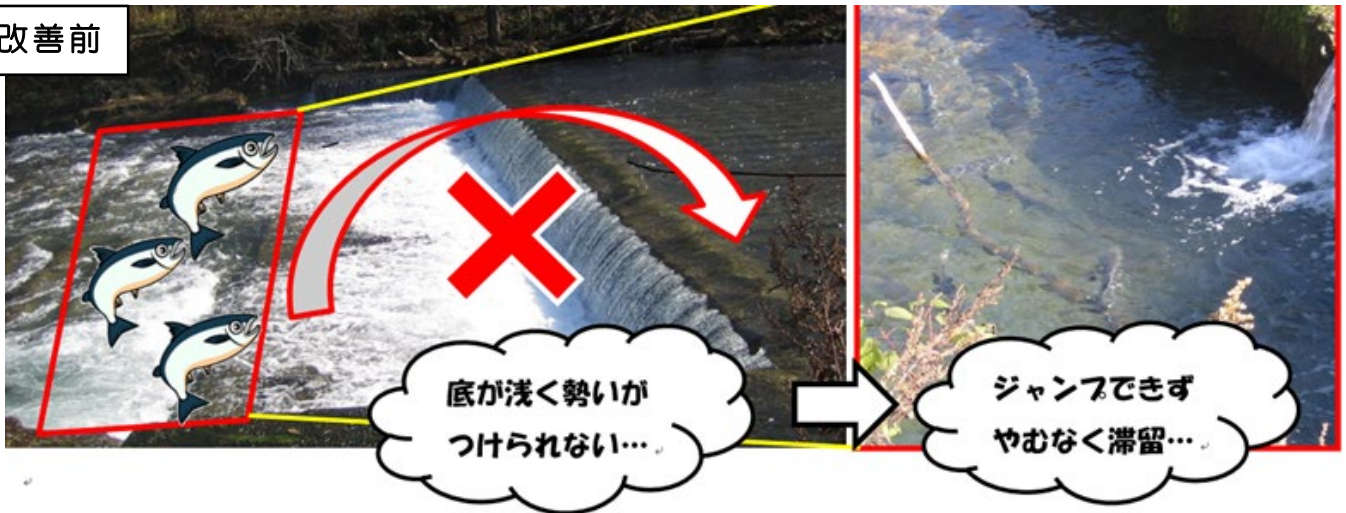
改善事例①：鮭やヤマメが遡上できない河川の改善

相談要旨

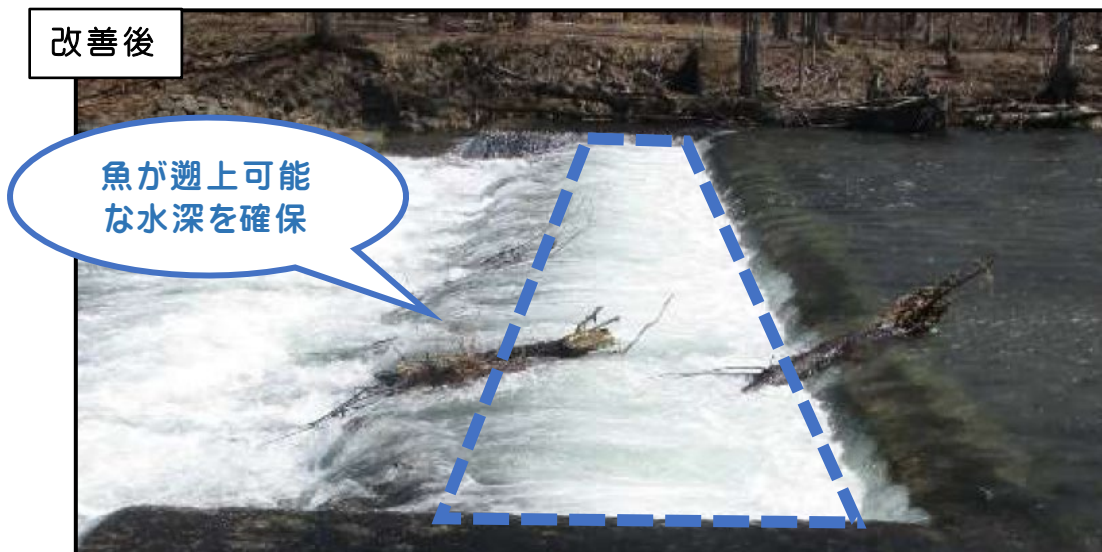
十勝川水系猿別川の上流には頭首工(*)が設置されており、それより下流の水深が浅くなっているため、鮭やヤマメ等が遡上できない。魚道を設置して、遡上できるようにしてほしい。

* 河川から農業用水を取水する目的で、流れをせき止めて水位を上昇させ、用水路に流し込む施設のこと。

改善前



改善後



措置結果要旨

行政相談委員が現地確認したところ、頭首工から下流に向かって段が設けられており、水深が浅くなっているため(*), 数十匹の鮭が遡上できずに滞留していました。このような状況は、複数箇所で見られました。

河川管理者である十勝総合振興局に相談内容を連絡した結果、水深を確保するための措置が講じられ、鮭が遡上しやすくなりました。

* 一般的に魚が遡上可能な水深は、対象とする魚の体高の2倍程度とされている(出典:公益社団法人日本河川協会)。

改善事例②：通学路の歩道修繕による交通安全の確保

相談要旨

別海町立上風連中学校の看板前の歩道（道道 930 号沿い）が経年劣化により損壊している。

当該箇所については、授業のために同校の生徒が近隣に所在する上風連地域センターを行き来する際に通行し、また、自転車通学の生徒が登下校の際にも通行しているため、ハンドルを取られるなどして転倒するおそれがあるので修繕してほしい。

改善前



歩道が破損して
危険・・・

改善後



登下校時の
交通安全を確保

措置結果要旨

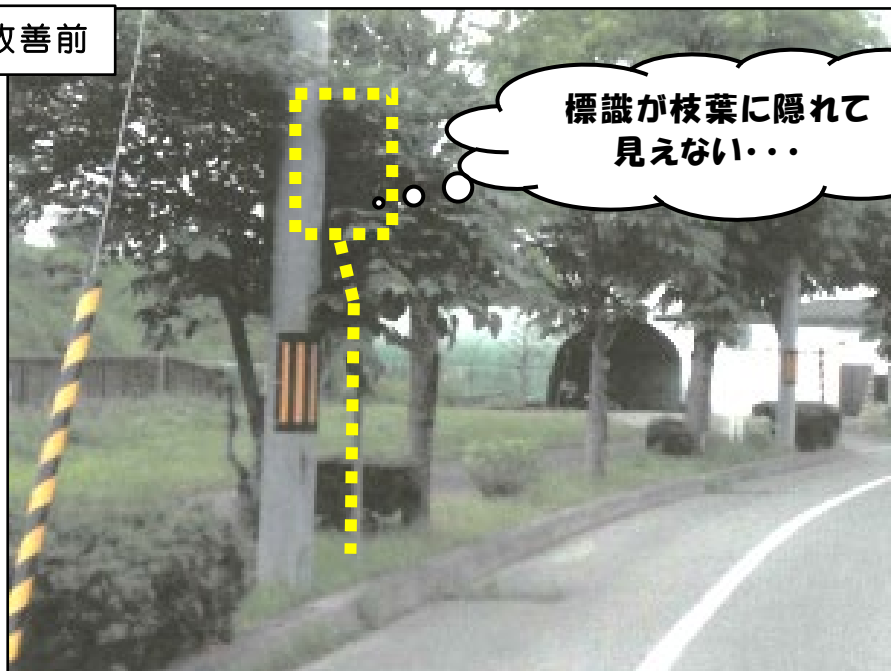
当センターから道路管理者である釧路総合振興局に相談内容を連絡した結果、破損箇所の補修工事が行われ、登下校時の交通安全が確保されました。

改善事例③：交通標識を覆う枝葉のせん定

相談要旨

音更町内の町道沿いにある一時停止標識が、街路樹の枝葉に覆われており見えにくくなっているため、枝葉をせん定して見やすくしてほしい。

改善前



改善後

枝葉のせん定により
標識の視認性を確保



措置結果要旨

行政相談委員が道路管理者である音更町土木課に相談内容を連絡した結果、枝葉のせん定が行われ、一時停止標識が見やすくなりました。